

平成30年度 岡山大学研究シーズ発信会



H30.12.4	TUE. 10:20~16:00	岡山大学創立五十周年記念館
岡山大学 工学部 化学生命系学科 (大学院ヘルスシステム統合科学研究科)		助教 増田潤子
プレゼンテーマ：がん抑制効果のある化合物を免疫学的に選択するための検査技術		
プレゼン時間：14:30~14:55		

研究成果概要

技術の概要

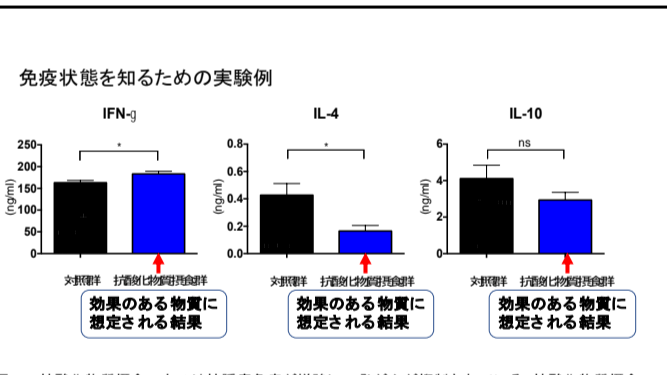
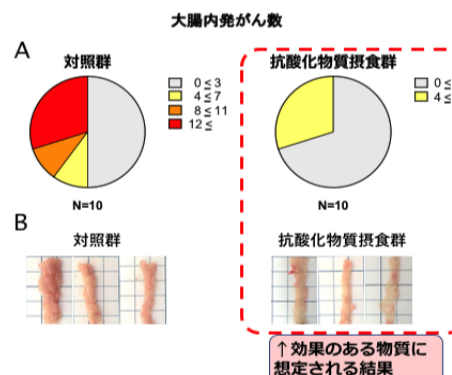
健康食品・サプリメント市場が拡大する一方で、効果の検討が不十分な状態で売られた食品による健康被害も急増しています。発表者自身がこれまでの研究で確立した実験技術「免疫学を駆使した高度な動物試験（腸炎および発がんモデル動物実験等）」は、効果の認められる健康食品・サプリメントを選定するための一つの指標として有効です。機能性表示食品や特定保健用食品(トクホ)申請に必要で高コストであるヒト介入試験前の前段階に低コスト有効性判断としての位置づけの利用や、病中・病後の利用を想定した食品の安全性評価としての利用が可能です。この検査を利用することによって、発売後の健康被害クレームを未然に防ぐ可能性が高まります。発信会では実験の内容とこれまでに請け負った委託研究の成果についてご紹介したいと思います。

想定される活用例

- ・健康食品・サプリメント、その他化合物の免疫細胞への影響を理解
- ・健康食品・サプリメント、その他化合物の摂食による発癌抑制効果
- ・健康食品・サプリメント、その他化合物の摂食による安全性評価

従来技術に対する新規性・優位性

- ・試験管内での評価だけでなく、**動物を用い**全身や腸管の状態の変化や影響を検査
- ・健康食品・サプリメント候補物質の摂食による効果を**免疫細胞全体のバランスから評価**
- ・様々な機能をもつ免疫細胞のどの細胞に効果や影響を与えるのか、**免疫細胞を詳細に分類**して評価



新技術に関する知的財産権

特許情報1

発明の名称	
出願人	
発明者	
出願日	
出願番号	

特許情報2

発明の名称	
出願人	
発明者	
出願日	
出願番号	

